
地域密着型金融推進計画

(平成21年度～23年度)



一関信用金庫をご利用の皆様へ

当金庫では、平成 15 年度以降、「リレーションシップバンキングの機能強化計画」（平成 15 年度～平成 16 年度）及び「地域密着型金融推進計画」（平成 17 年度～平成 18 年度）を策定し、地域金融機関としての使命と役割を果たすべく積極的に取組んでまいりました。

平成 19 年度からは「地域密着型金融推進計画」を恒久的な取組と捉え、これまでの取組を更に深度あるものとして地域の情報ネットワークを活かし、取引先企業の一層の支援強化や中小企業金融の円滑化など、金融機関としての本来の業務の枠組みに留まらず、これまで培ってきた地域の皆様との更なる関係強化を図って参りました。平成 21 年度よりの 3 年間はしんきん「つなぐ力」発揮 2009 計画の基、下記の基本方針に基づき、4 つの推進項目について、創意工夫を持って取組んでまいります。

基本方針

- 協同組織金融機関の相互扶助・非営利という特性を活かし、金庫の健全性の確保と長続きする取引基盤を確立させることで地域とともに歩み、地域になくってはならない金融機関である事を目指します。
- 地域密着型金融の原点であるお客様との「信頼関係」を基盤とした、本質的な地域密着型金融の推進に努めてまいります。
- 企業のライフサイクル、個人の生活設計に合わせタイムリーな支援を行い、地元精通を活かした、課題解決型金融を目指します。

推進項目

- ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の充実
- 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底
- 地域情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献
- 協同組織金融機関としての取組

取組み状況の公表

本推進計画の取組み状況・実績等につきましては、当金庫ホームページ等において公表してまいります。

I. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項目	取組方針	具体的取組策
創業・新事業支援	<ul style="list-style-type: none"> ■ 政府系金融機関との協調による支援態勢の強化を図ります。 ■ 産学官の連携に向けた取組みを推進します。 ■ 創業等支援融資制度を見直し、利用推進を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (株)日本政策金融公庫と連携した創業等支援に関する職員向け研修会の開催や、創業・新事業支援の協調融資を継続的に取組んで参ります。 ・ 業務提携を結んだ(財)岩手県南技術研究センターとの連携強化、取引企業への積極的に利用促進を図ります。 ・ 岩手県県南振興局等の行政機関との連携を強め「新連携」「農商工連携」等、国の施策への積極的な関与による新事業支援を行います。
経営改善支援	<p>中小企業診断協会岩手県支部との連携強化を図り、金融面に留まらない経営改善指導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 国、県の中小企業支援施策の積極的活用を推進します。 <p>本部支援担当と営業店の連携強化による経営支援機能の拡充を図ります。経営改善計画策定に係る相談・指導が行える人材の養成に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本部支援担当部署の人員・人材の強化を図り企業への、財務改善計画策定、資金繰り表策定等の個別経営支援に取組みます。(中小企業診断士2名を配置) ・ 提携している中小企業診断協会岩手県支部所属の中小企業診断士と連携したコンサルタントを中心とした経営改善支援に取組みます。 ・ 県の中小企業支援策(専門家派遣等)の積極活用による経営改善支援に取組みます。 ・ 職員向け中小企業支援施策や財務の研修会を開催し、人材養成に努めます。
事業再生	<p>岩手県中小企業再生支援協議会との一層の連携強化を図ります。</p> <p>新たな再生手法の研究の為の人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県中小企業再生支援協議会への持込み案件の発掘に努めます。 ・ 支援協議会版DDSの導入による再生手法を研究、案件発掘に努めます。 ・ 岩手県信用保証協会の経営支援室との連携により、セーフティネットを活かした財務改善支援を行います。
事業承継	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各種研修会等へ積極的に参加し、事業承継に係る専門知識・ノウハウの習得に努めます。 ■ 「経営塾」を開塾し、次世代の若手経営者等の育成を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業承継等の各種研修会へ経営支援担当の職員を派遣しスキルアップを図って参ります。 ・ 「経営塾」の開塾と、塾を通しての地域若手経営者の育成と、地域経済の活性化に努めます。

※用語解説※

DDSとは、企業の過剰債務の状態を解消し、財務再構築を図り、債務者の再建可能性を高めるため、合理的かつ実現可能性の高い再建計画と一体で、既存の債権を劣後化する手法です。

Ⅱ. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項目	取組方針	具体的取組策
目利き能力の向上をはじめ事業価値を見極める融資 (不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の徹底)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 外部研修に職員を積極的に派遣し、目利き能力の向上に努めます。 ■ ABL（動産・債権譲渡担保融資）の活用を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区協主催の目利き力養成講座・FP養成講座等、中小企業基盤整備機構主催の地域金融機関等職員研修に職員を派遣します。 ・ ABLの知識習得のための研修会等への派遣と、信金中金並びに信用保証協会との連携強化により知識習得・人材育成を図って参ります。 ・ 信金中金連携商品であるMEサポートの利用促進を図ります。 ・ 信用保証協会制度を活用したABLの商品の取組検討、事務規定等の態勢整備を進めます。
中小企業に適した資金供給手法の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の活性化、街づくりを支援する融資商品を創設し、利用推進を図ります。 ■ セーフティネット制度の啓蒙と、利用推進を図ります。 ■ シンジケートローンへの参画に取組みます。 ■ 農業事業者向け融資の利用促進を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「平泉」の文化遺産の世界遺産登録、再申請に向けた「平泉世界遺産ローン」の利用推進を図ります。 ・ 中小企業の経営・財務安定の為、セーフティネットの活用を推進します。また保証協会研修会への職員派遣や勉強会の開催による人材育成を図って参ります。 ・ シンジケートローン案件の発掘と取扱増加を図ります。 ・ 岩手県農業信用基金協会との保証契約締結による円滑な資金供給態勢を構築し、農業事業者向け融資「にない手ローン」の利用促進を図ります。

※用語解説

シンジケートローンとは、企業の資金調達ニーズに対し複数の金融機関が協調融資団を組成し、同一の契約書による貸出等の信用供与を行う融資形態をいいます。

MEサポートとは、機械(machinery)・設備(equipments)の頭文字で、企業の設備(機械や重機等の動産)を担保として活用することにより貸出等の信用供与を行う融資商品であります。

地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項目	取組方針	具体的取組策
地域の面的再生	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商工会、商工会議所との連携を強化し、地域活性化につながる金融サービスの提供をはじめ、各種事業への参画、人的貢献等を通じた地域支援に取組みます。 ■ 業界上部団体、関連機関との連携を密にし、地域活性化に寄与する情報を提供します。 ■ 地域を担う経営者への支援強化を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東北地区信用金庫協会、岩手県南技術研究センター主催のビジネスマッチングフェアに参画し、地域中小企業のビジネス機会の創出を支援します。 ・ 地域中小企業の経営上の課題に対する相談窓口として、提携している中小企業診断協会岩手県支部が主催する経営相談会に庫内中小企業診断士を派遣します。 ・ 信金中金と「ぐるなび」の提携を活用した、地域特産品、食の全国配信の情報提供を行い、ビジネスマッチング拡大を推進します。 ・ 「いちしん経営塾」を開塾し、経営課題について、より実践的な経営の学習を通して、次世代経営者の支援に取組みます。
地域活性化につながる多様なサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多重債務問題への対応として、地公体との連携強化を推進いたします。 ■ 外部専門家による各種セミナーを開催し、公的制度等に関する情報提供を行います。 ■ 若年層及び高齢者への正しい金融知識の普及と金融防犯意識の啓蒙を致します。 ■ 地球環境にやさしい商品・サービスの提供を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多重債務問題について、研修会等を通じ職員の周知を図り、相談受け入れ態勢の充実を図るとともに、専門の担当者を配置し支援態勢の充実を図ります。 ・ 債務借換・整理資金「一信多助」並びに宮城県栗原市と多重債務者救済提携ローン「栗原市のぞみローン」の取り扱いについて、地公体との連携を維持強化して参ります。 ・ 中小企業庁、並びに県・市よりの情報集積を基に、中小企業施策の情報提供と各種情報提供セミナーを開催します。 ・ 年金支給日に全店のATMコーナーに職員を配置し、振り込み詐欺防止の呼びかけ運動を行います。 ・ 地域の小学校等への「出前金融教育」を実施し、金融知識の普及に努めます ・ エコを意識した優遇金利商品(預金・融資)の開発・販売を行います。

協同組織金融機関としての取組み

項目	取組方針	具体的取組策
身の丈にあった収益管理やITの活用等を含めた態勢整備	<ul style="list-style-type: none"> ■信用コストを適正に加味した貸出金利の設定など収益管理態勢の整備を図ります。 ITの活用促進により顧客サービス機能強化に取組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信用格付、自己査定精度を向上させ、SDBを活用した取引先の実態に見合う基準金利体系の設定を構築し、適正な収益力確保に努めます。 ・法人インターネットバンキング等のダイレクトバンキングの更なる利用促進を図り、顧客の利便性向上に努めます。 ・生体認証機能付ICキャッシュカードの検討、導入を行います。
利用者からの評価を業務に適切に反映するための態勢整備	<p>お客様のニーズに対応した商品、サービスの提供を行うことで地域の皆様に安心してご利用頂ける金融機関を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様アンケート調査結果を集計・分析し、お寄せ頂いたご意見・ご要望を真摯に受け止め、積極的な取組み策を検討して参ります。 ・苦情・相談・要望等への適切な対応と事例研究を実施します。
ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> ■総代会の機能向上に向けた取組みを推進します。 ■今後もより一層地域の皆様に分かりやすい情報の開示に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総代会制度についてご理解頂くために、ディスクロージャー誌に分かりやすい内容を開示します。 ・総代に対する経営内容の地区別説明会の開催を行います。 ・会員加入時に総代会の位置付をご理解頂けるようパンフレット等により知らしめるとともに、リスクについて分かりやすく説明いたします。
リスク管理態勢の充実	<p>ALM委員会を通して統合的リスク管理の把握に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■信用リスク、市場リスク管理態勢の充実に取組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・信用リスクの計量化の精度向上と、モニタリングの強化を図ります。 ・市場リスク監査手法等専門能力向上を図り、精度の高い検証による市場リスク管理の充実に取組みます。
法令等遵守の徹底	<p>金庫内のコンプライアンスの意識を高め、徹底する庫内風土の醸成を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のコンプライアンスマインド醸成を図るため、役員、主管部署による営業店訪問を実施します。 ・定期的に各課店によるコンプライアンス勉強会を実施します。 ・利益相反管理体制を構築いたします。 ・役席による各種コンプライアンス関係の認定試験取得の義務化を継続します。